

福井支部役員勤續二十五年表彰者人名目 十五

陸軍歩兵上等兵

同 歩兵少尉正八位勲六等功六級

同 歩兵中尉後七位

同 三等軍正八位

同 歩兵中尉後七位勲五等功五級

同 歩兵中尉後七位勲六等

同 歩兵少尉正八位

名譽會員

陸軍二等軍正七位

同 歩兵上等兵勲八等

岩佐 武

若島 春作

田邊 顯治

高橋 謙齊

絹若 青松

松島 英二

廣瀬 清左門

森 貞貞

関 嘉伯

鈴木 長藏

姫路支部

役員勤續二十五年表彰者人名

陸軍歩兵中尉後七位勲六等

補充兵看護兵勲八等

歩兵中尉後七位勲六等

歩兵中尉後七位

歩兵上等兵勲八等功七級

歩兵中尉後七位

歩兵中尉後七位

騎兵中尉後七位

歩兵任長

歩兵曹長勲七等功七級

歩兵大尉後七位勲六等功五級

二等軍進後七位勲六等

歩兵大尉後六位勲四等功五級

輜重兵上等兵

歩兵中尉後七位勲六等

同

山口順一 五名

岩田吟次

西川義正

岡本守吉

大熊千右郎

大西毅

加古儀平

瀧川敏次郎

永井宗二郎

中尾毫次

黒川安治

前田恒久

松本龍太

伏屋哲造

出口豊治

木下桂二

鳥取支部 役員勤績二十五年表彰者人名

二名

陸軍歩兵中尉後七位

能見實藏

同 二等藥劑官後七位勲五等

日下部又三郎

岡山支部役員勲績二十五年表彰者人名

陸軍砲兵中尉後七位

同 歩兵上等兵

同 歩兵大尉正七位勲五等功六級

同 歩兵中尉後七位勲六等

同 騎兵一等兵勲八等

同 歩兵中尉正七位勲六等

同 歩兵中尉後七位

同 歩兵伍長

合計八名

仁 神 耕 二

大 野 紫 五

片 岡 里 二

山 下 宏 一

藤 井 壽 逸

藤 原 鐵 大 郎

小 坂 金 吾

宇 光 熊 大 郎

松江支部、役員勤績二十五年表彰者人名

陸軍輜重兵少尉後八位

同 步兵一等兵

同 步兵少尉正八位勳六等

同 步兵中尉後七位

同 三等軍医正八位

同 輜重兵少尉正八位

子口順 六名

河 藤 敏 造

岡 本 美 元

武 田 房 之 助

中 田 龜 悦

船 越 福 平

佐 藤 元 造

孔龜支部役員勤績二十五年表彰者人名

陸軍歩兵中尉 趙七位

砲兵 趙長

歩兵特務曹長 趙七等功七級

上等省護兵

歩兵中尉 趙七位

歩兵少尉 趙八位

工兵位長 趙七等功七級

歩兵少尉 趙八位 趙六等

一等軍士 趙七位 趙六等

三等軍士 趙八位 趙六等

歩兵軍曹 趙七等功七級

砲兵上等兵 趙八等

三等獸醫 趙八位

輜重兵上等兵

輜重兵少尉 趙八位

同

山口順 二名

新佐清 大郎

大久保 大吉

大岩 虎吉

大西山 四郎

大西 長一

渡邊 正義

片岡 敬謙

梶河 佐次郎

吉野 秀雄

曾根 昌平

津野 春三

中山 安次

安藤 善助

箭本 正路

山本 廣治

陸軍騎兵部長  
同 步兵少尉正八位  
同 步兵中尉從七位  
同 步兵中尉從七位  
同 步兵少尉正八位勳六等  
同 步兵上等兵勳八等功七級

松本喜三郎  
真鍋清  
有馬清平  
佐々木幸次  
塩田忠左衛門  
平尾只次

松山支部役員勤績三十五年表彰者人名

不日八吸 五名

陸軍歩兵上等兵

同 歩兵特務曹長勲七等

同 砲兵伍長

同 歩兵上等兵

同 歩兵伍長

富野友太郎

河端 園一

藤田 三重

塩出 喜久治

鈴木 安治郎



德島支部役員勤績二十五年表彰者人名

陸軍歩兵一等兵

同 騎兵曹長

同 歩兵大尉正七位勳六等功七級

同 輜重兵中尉從七位

同 歩兵軍曹勳七等功七級

同 歩兵中尉從七位

同 歩兵中尉從七位勳六等功五級

同 陸軍歩兵伍長

同 補充兵歩兵

山口 八 吹 九 名

板東 林 平

岩佐 彌 左 工 門

井内 礒 三 郎

濱口 俊 雄

大津 市 右 工 門

和田 利 久

天田 信 一

塩田 貞 平

住友 惣 四 郎

高知支部役員勤続二十五年表彰者人名

陸軍歩兵上等兵

平井

傳

一名

小倉支部 役員勤績三十五年表彰者人名

陸軍歩兵少尉正八位

同 歩兵上等兵勲八等功七級

同 歩兵特務曹長勲七等

同 工兵伍長

同 歩兵二等兵

同 歩兵大尉正七位勲六等功五級

同 二等軍医後七位勲五等

合計八順 七名

和田 謙 作

高田 作 市

田村 鶴 吉

向坊 熊 壽

宇津 友 吉

福田 龜 太郎

清水 宗 介

福岡支部、被員勤績二十五年表彰者人名

山口順次名

陸軍砲兵中尉 後七位

花村久吾 衛

同 歩兵中尉 後七位 勲六等

大武正人

同 歩兵任長 勲七等

山方健藏

同 歩兵曹長 正八位 勲七等

松藤善吾

同 歩兵軍曹 勲七等 功七級

三吉朝次郎

同 歩兵軍曹 勲七等

張田元吉

大井支部、役員勤績二十五年表彰者人名

陸軍歩兵上等兵

同 歩兵曹長勲七等功七級

同 三等軍医正八位勲六等

同 砲兵特務曹長勲七等

同 歩兵曹長勲七等功七級

同 三等歩兵曹正八位勲六等

入江 徳平

吉田 安太郎

田島 伊九郎

長信 泉

廣瀬 傳市

吉田 豊馬

久留米支部 役員勤績三十五年表新着人名

陸軍歩兵軍曹勤七等

砲兵上等兵

二等軍医後七位勤六等

名 榮會員

陸軍歩兵曹長勤七等

歩兵曹長勤七等功六級

歩兵大尉正七位勤五等功五級

歩兵特務曹長勤七等功七級

三等勲章官正八位勤六等

歩兵上等兵

歩兵特務曹長勤七等功六級

歩兵中尉後七位勤六等

歩兵中尉後七位勤六等功六級

歩兵中尉後七位勤六等

歩兵一等兵

山口順三

池尻又三郎

石橋龍吾

西田良助

渡邊成一

嘉村小四郎

副島喜平

那村丈方郎

那口甚太郎

久保正兵衛

藤本安一

江崎林太郎

木本諦聰

三岩高道

篠原倍藏

平山傳次

陸軍砲兵中尉 佐七位勳五等  
同 一等軍 正七位勳四等

杉助廣 五郎  
森 乙 熊

水戸支部、役員勤績二十年表新着人名

合順三君

陸軍 步兵少尉正八位

伊藤 正次

同 步兵少尉正八位

系賀 治郎吾衛

同 上等着護兵

石川 安之助

同 步兵中尉後七位

井上 金菴

同 三等軍正八位

伯田 式之介

同 步兵上等兵

堀 孫三郎

同 砲兵特務曹長勲七等

西野 留吉

海軍 三等兵曹勲七等

小澤 義人

陸軍 步兵中尉後七位

大越 謙之助

同 騎兵曹長

小澤 金次郎

同 步兵特務曹長勲七等功七級

大塚 金次郎

同 步兵中尉後七位

尾上 玄盛

同 步兵一等兵

川島 運平

同 憲兵曹長勲七等

川又 熊三郎

同

鹿島 雄

同

水戸一



同 步兵軍曹勳七等功七級  
 同 三等主計正八位勳五等  
 同 砲兵軍曹  
 同 步兵特務曹長勳六等功六級  
 同 砲兵中尉七位勳六等  
 同 步兵中尉七位  
 同 憲兵中佐正六位勳四等  
 海軍 一等水兵  
 陸軍 步兵曹長勳七等功七級  
 同 步兵軍曹  
 同 砲兵任長  
 同 步兵上等兵  
 同 一等看護長勳七等  
 同 步兵伴長軍曹  
 同 一等軍正正五位勳四等  
 同 步兵任長

田中 榮助  
 高塚 長之介  
 田邊 壽  
 黒崎 和正  
 粉川 幸之介  
 小林 徳次郎  
 小山 三巳  
 小見 庄大夫  
 江崎 繼一郎  
 齋藤 庄平  
 笹目 考一郎  
 酒井 繕正  
 澤田 徳道  
 酒泉 考太郎  
 本村 勝齋  
 弓削 徳次

陸軍砲兵少尉正八位勲六等  
同 二等軍医正七位勲六等

篠三郎  
鈴木剛次郎

宇都宮支部、役員勤績二十五年表新着人名 山口順七名

陸軍歩兵一等兵勲八等

田島大一郎

同 歩兵中尉七位

中島良助

同 歩兵大尉七位勲五等功六級

山田通龍

同 歩兵上等兵勲八等功七級

毛塚萬三郎

同 歩兵中尉七位勲六等

小此木万次郎

同 歩兵軍曹

椎名榮藏

同 歩兵上等兵

鈴木貞吉

高崎支部 役員勤績二十五年表彰者人名

陸軍歩兵軍曹 高八等

同 歩兵大尉 佐七位 勲五等功五級

同 二等獸医 佐七位 勲六等

同 歩兵中尉 佐七位

同 歩兵中尉 佐七位 勲六等功五級

同 歩兵中尉 佐七位 勲六等

同 騎兵上等兵 勲八等

子正 七名

今井 照吉

富澤 直太郎

高橋 一郎

向井 淳三

木暮 雄太郎

木村 益三郎

花山 三郎

松本支部役員勤績二十五年表新着人名

陸軍歩兵一等兵勲八等

同 歩兵中尉後七位

同 騎兵曹長勲七等功七級

同 工兵中尉後七位勲六等

同 一等軍正七位勲六等功五級

名譽會員

陸軍歩兵中尉正八位勲六等

山口順七名

井出 德雄

神林 求

片岡 一朗

田島 準一郎

小林 茂樹

手塚 平吉

關宮 一

京都支部、役員勤績二十五年表新着人名

个口八順 五名

陸軍歩兵上等兵 勲八等

同 一等軍正七位 勲五等 功五級

同 歩兵伍長

同 歩兵上等兵 勲八等

同 歩兵一等兵

同 二等蹄殺工長

同 歩兵軍曹 勲八等

同 歩兵特務曹長 勲七等 功六級

同 歩兵中尉 勲七位 勲六等

同 騎兵上等兵 勲八等 功七級

同 歩兵少尉 正八位

名譽 舍員

陸軍歩兵中尉 勲七位

同 砲兵軍曹

同 砲兵軍曹 勲八等

同 歩兵軍曹 勲八等

伊藤 辰之助

橋本 喜久三

濱上 元之助

堀井 新太郎

大森 典兵衛

尾澤 修治

神田 久吉

田中 伸治

田中 甚一郎

中村 平治

岸野 保治

雲 清藏

久保 久一郎

八若 宗太郎

松官 政太郎

陸軍歩兵一等兵  
同 歩兵中尉 從七位  
同 歩兵中尉 從七位  
同 歩兵一等兵

小林清三郎  
小西龍太郎  
木村松雄  
鈴木季太郎

福知山支部役員勤績二十五年表勲者人名

合計八名

陸軍歩兵中尉後七位勲六等

岩田正雄

砲兵特務曹長勲七等

志井勲藏

同 歩兵特務曹長勲七等

由里栄太郎

同 歩兵軍曹勲七等

村田耕造

同 歩兵中尉後七位勲五等功五級

鈴木貞太郎



津支部、役員勤續二十五年表彰者人名

合計 一七名

陸軍歩兵中尉 七位

名譽 會 員

名譽 會 員

陸軍二等軍正 七位 勳五等

同 歩兵中尉 七位

同 歩兵中尉 七位 勳六等

同 二等主計 七位 勳六等

同 歩兵少尉 正八位

同 三等軍正 正八位 勳六等

同 輜重兵軍曹 勳七等

同 輜重兵 一等兵

同 歩兵 一等兵

同 歩兵中尉 七位

同 歩兵中尉 七位

同 歩兵少尉 正八位

同 歩兵少尉 正八位

濱 中廣之輔

大 橋 権一

大 川 親直

川 原 田 龍男

筒 居 信九郎

中 島 俊九郎

山 内 甚太郎

小 坂 義男

青 山 庄 兵衛

清 水 浪 浩 郎

植 口 甚四郎

廣 瀨 熊男

森 俊 雄

諸 岡 傳

陸軍一等軍正七位勳六等

須原

廣

大倉良支部、役員勤續三十五年表彰者人名

陸軍砲兵少尉正八位

同 騎兵伍長

同 砲兵上等兵

同 騎兵軍曹勲八等功七級

山口順四名

井上平吉

河合和藏

得原龜治郎

鈴木惠順

京城支部、役員勤續三十五年表勤者人名

陸軍歩兵少尉正七位勲五等

林

唯

亮

五

湖南支部、役員勤續二十五年表彰者人名 不口八順 三名

陸軍砲兵少尉正八位

原口 一 二

同 砲兵少佐正六位勳五等

青山貞次郎

同 二等主計正七位勳五等

岩田 清

大邱支部、役員勤續三十五年表勲者人名

一名

陸軍歩兵少尉正八位

相馬典作

台北支部、役員勤續二十五年表彰者人名 台原一五

陸軍輔官兵少尉正八位勲大等 井上龍代

台南支部役員勤績二十五年表彰者人名 不口順四名

陸軍歩兵中尉佐七位勳六等

小川 浩

同 憲兵曹長勳八等

村上 玉吉

同 歩兵伍長

熊岩 茂作

同 憲兵特務曹長

清水 義昭



四平街支部役員勤績二十五年表新着人名  
陸軍歩兵軍曹勳八等  
山本茂之通

奉天支部、役員勤續二十五年表新者人名  
陸軍砲兵上等兵  
同 工兵二等兵

山口 請  
前田 龜  
作一

二名

大石橋支部、役員勤績三十五年表彰者人名

陸軍歩兵少尉正八位

地家

精

五



決裁案

東京市(府ヲ含ム)派遣員壹百八拾七名ニ對シ左記ノ  
通賞與トシテ支給セラレ度

右請決裁

左記

昭和十年十月三十日現在ヲ以テ勤務成績ヲ斟酌シ上勤  
務月數參箇月未滿者ニ對シテハ金六圓以内、參箇月  
以上六箇月未滿者ニ對シテハ金拾貳圓以内、六箇月以上  
者ニ對シテハ金拾八圓以内ヲ支給シ得ルモノトス

但シ勤務月數ノ端數ハ壹箇月トシテ計算ス

理由

東京市(府ヲ含ム)失業救濟事業ニ依ル派遣員トシテ陸軍  
ノ委託事務ニ従事シ其ノ勞勩カラサルニ付來ル十二月ニ  
於テ前記人員ニ對シ年末賞與トシテ各人ニ支給シ其ノ勞ニ  
酬ヒ度

右決裁アリタル後

副官ヨリ 陸軍兵器本廠長、陸軍航空本部總務部長  
教育總監部庶務課長、陸軍工科學校長  
陸軍砲工學校長、陸軍士官學校長  
陸軍幼年學校長、陸軍經理學校長  
陸軍軍醫學校長、第一師團參謀長  
麻布聯隊區司令官、本郷聯隊區司令官  
軍用鳩調查委員長、參謀本部庶務課長  
陸軍大學校長、第一衛戍病院長

東京警備參謀長へ通牒案示

(經由スヘキモノハ全部經由)

目下貴廠(所校部委員院)ニ於テ執務中ノ東京市(府)ヲ含  
ム派遣員ニ對シ來ル十二月左記ノ通賞與ヲ支給シ得ル儀  
ト承知セラレ度

左記

陸普第六六七九號

昭和十年三月廿一日

昭和十年十月三十日現在ヲ以テ勤務成績ヲ斟酌シ上勤務月  
數參箇月未滿者ニ對シテハ金六圓以内、參箇月以上六箇月  
未滿者ニ對シテハ金拾貳圓以内、六箇月以上者ニ對シテハ  
金拾八圓以内ヲ支給シ得ルモノトス

但シ勤務月數ノ端數ハ壹箇月トシテ計算ス

追テ右經費ハ軍事費、雜給及雜費ノ支辨トシ別途令達

セラル可キニ付人員及支給額(計算書添付)ヲ來ル十二月三日迄  
ニ報告セラレ度申添フ



甲輯第三類目次  
恩給 赦恤

| 編次番號 | 件                                    | 名  | 形式 | 主務 | 年 | 受 | 番號           |
|------|--------------------------------------|----|----|----|---|---|--------------|
| 一    | 陸軍共濟組合ト日本齒科醫師會トノ契約ノ件                 | 通  | 醫事 | 一  | 〇 | 貳 | 六九七          |
| 二    | 陸軍共濟組合ト日本醫師會トノ契約ノ件                   | 令  | 令  | 一  | 〇 | 令 | 六九六          |
| 三    | 旧韓國將校等救濟ニ関スル件                        | 令  | 恩賞 | 一  | 〇 | 令 | 八七二          |
| 四    | 陸軍共濟組合指定ニ関スル件                        | 照  | 令  | 一  | 〇 | 令 | 一八一          |
| 五    | 恩給法第五十九條ノニ第一項第二號ノ丁ニ年<br>以上待遇ノ意義ニ関スル件 | 通  | 恩賞 | 一  | 〇 | 壹 | 一六六六         |
| 六    | 陸軍共濟組合事務検査ノ件                         | 法裁 | 令  | 一  | 〇 | 貳 | 一一九三         |
| 七    | 令ノ件                                  | 令  | 令  | 一  | 〇 | 令 | 一三七三         |
| 八    | 雇員扶助令ニ依ル扶助金支給標準ノ改正ノ件                 | 通  | 令  | 一  | 〇 | 令 | 一八一三         |
| 九    | 陸軍共濟組合計算證明ニ関スル件                      | 令  | 令  | 一  | 〇 | 令 | 一八六七         |
| 一〇   | 傭人扶助令及供給労働者扶助令施行<br>状況ニ関スル件          | 令  | 令  | 一  | 〇 | 令 | 二二三四<br>二二六八 |
|      |                                      | 陸軍 | 令  | 合  | 合 | 合 | 合            |

一 陸軍共濟組合財産管理方法 1件

一 幹部候補生恩給法上ノ取扱ニ関スル件

法裁 恩賞 10 貳 二五五七

通 令 10 全 二六〇二

合 合

陸

海

保存期限

永久

決裁指定

局長

決行指定

牛島

政務次官回付 決裁前後連帶課名 恩賞

永久 恩賞

六九七

決行(決裁)後 回覽課名

衛生 監査

恩賞課

陸軍省 10.4.5 午後2時 恩賞課

受領番號 陸軍共濟組合卜日本齒科醫師會卜ノ契約ノ件

起元應(課)名

醫事

陸軍省 10.4.13

陸軍省 10.4.10

審案 筆記者

大臣

委

政務次官

次官

主務局長

參與官

高級副官

主務課長

書記官 日高

主務副官

官房御用掛

主務課員

番號 醫審第 九〇號

主務局長 昭和三十二年四月六日

大臣官房 昭和三十二年四月六日

決行後(裁決)回覽 局長

決行後(裁決)回覽 局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

陸普

次官ヨリ日本齒科醫師會長へ

陸軍共濟組合ノ齒科診療ニ關シ別紙ノ如ク契約致度書類ニ通送付  
スルニ付異存無之ハ調印ノ上一通返送相成度

昭和九年度契約満期ニ依リ契約繼續ノ爲メ  
陸普第一九三〇號

昭和十年四月八日



契

約

書

製 約 書

第一條 陸軍共濟組合ノ組合員ノ齒科診療ニ關シテハ昭和九年四月一日陸軍共濟組合ト日本齒科醫師會トノ間ニ締結シタル契約書ニ依ルモノトス

第二條 本契約ノ有効期間ハ昭和十年四月一日ヨリ昭和十一年三月三十一日迄トス

右契約ノ確實ヲ證スル爲メ本書ニ通テ作製シ双方署名調印ノ上各一通ヲ所持スルモノトス

昭和十年四月一日

陸軍次官

橋本虎之助

日本齒科醫師會長

血脇守之助

式第 六九七 其 一

關

日齒保發第一二號

昭和十年四月九日

日本齒科醫師會長



陸軍次官 橋本虎之助殿

齒科診療契約書返送ノ件

四月八日陸普第一九三〇號ヲ以テ御送附相成候昭和十年年度齒科診療契約書貳通受領致シ候ニ就テハ調印ノ上其ノ壹通及御返送候也



恩連口第三四五



日本齒科醫師會





保存期限

永久

決裁指定

局長委任

決行指定

牛島

政務次官  
參與官回付

決裁前後連帶  
課名 恩賞

決行(決裁)後  
回覽課名

衛生課

書記官

審判官

六九六號

起元廳(課)名

醫

件名

陸軍共濟組合卜日本醫師會卜ノ契約ノ件

大臣

牛島

政務次官

次官

主務局長

參與官

主務課長

主務課員

主務課員

|            |            |
|------------|------------|
| 房官臣大       | 課局務主       |
| 了結         | 領受         |
| 昭和三十九年三月六日 | 昭和三十九年四月六日 |
| 領受         | 提出         |
| 昭和三十九年三月六日 | 昭和三十九年四月六日 |
| 番號         | 番號         |
| 醫審第 四九號    | 醫審第 四九號    |

|     |     |
|-----|-----|
| 決行後 | 決行後 |
| 局長  | 局長  |

|    |    |
|----|----|
| 長課 | 長課 |
|----|----|

局長

局長

局長

局長

局長

局長

陸軍省 10.4.13 課

陸軍省 10.4.10 衛生課

陸軍省 10.4.5 衛生課 恩賞

左

軍



陸普

次官ヨリ日本醫師會長へ

陸軍共済組合ノ診療ニ關シ別紙ノ如ク契約致度書類ニ通送付スル  
ニ付異存無之ハ調印ノ上一通返送相成度

陸普第一九二九號 昭和十年四月八日



昭和九年度契約満期ニ付繼續ノ爲メ

契

約

書

契 約 書

第 一 條 陸軍共濟組合ノ組合員ノ診療（齒科診療ヲ除ク）ニ關シテ  
ハ昭和八年四月一日竝昭和九年四月一日陸軍共濟組合ト日本醫師會ト  
ノ間ニ締結シタル契約書ニ依ルモノトス

第 二 條 本契約ノ有効期間ハ昭和十年四月一日ヨリ昭和十一年三月  
三十一日迄トス

右契約ノ確實ヲ證スル爲メ本書ニ通テ作製シ双方署名調印ノ上各一通ヲ  
所持スルモノトス

昭和十年四月一日

陸軍次官

橋本虎之助

日本醫師會長

北島多一



旧韓國將校等救済ニ関スル件  
次官ヨリ朝鮮軍營謀臣家通牒案

旧韓國將校會等ニ於テ多年扶助料請願  
運動繼續中、處同問題ハ陸軍、海軍  
頭ニアラスルヲ以テ固ヨリ彼是言明スル以助合  
ノ五ノニアラスル正國家トシテ、待遇實現  
ハ恐ラク困難ナルヘシト恩料セラズ然レト  
王彼等ノ實情ハ同情ニ値スル正、可有互政  
策的見地ヨリ出来得レハ何等カノ形式ヲ以  
テ互レテ處理スルヲ可ナラスヤト認ムルニ付



テハ在鮮公益團體等ヲ指導シ適當ナル救濟方法ヲ講セシムルヲ得サルヤ御研究ノ上朝鮮總督府ト連絡セラレ同府ヲシテ可然處置セシメラルル様政務院命通牒又  
返答者ノ爲別冊救助嘆願書及生活狀況調査書ヲ送附スルモ若シ貴軍ニ同一書類之レ有ラハ御返送相成候申添フ

陸軍第二四九六號

昭和十年五月一日



陸

軍



大臣ヨリ内務大臣宛照會案

陸軍共濟組合ハ昭和元年十二月三十日健康保險法施行令第七條ニ依ル共濟組合ニ指定セラレタル處改正同法施行令第七條ノ施行ニ伴ヒ同條ノ規定ニ依リ更メテ指定セラレ度陸軍共濟組合規則添附申出候

陸普第五〇六號

昭和十年二月五日



改正健康保険法施行令

第七條 政府ノ事業ニ使用セララルル被保險者ガ  
共濟組合ノ組合員ナル場合ニ於テ其ノ組合ノ  
給付ノ種類及程度ヲ内務大臣ニ於テ適當  
ナリト認メ其ノ組合ヲ指定シタルトキハ其ノ  
被保險者ニ對シテハ健康保険法ノ規定ニ依  
ル保險給付ヲ爲サズ

第八條 前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケザル  
者ニ付テハ保險料ハ之ヲ徵收セズ

附則

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

舊健康保險法施行令

第七條政府ノ事業ニ使用セララルル被保險者カ  
健康保險法ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受クヘ  
キ場合ニ於テ内務大臣ノ指定シタル共濟組合  
ヨリ其ノ保險給付ニ相當スル給付ヲ受クルトキ  
ハ其ノ重複スル部分ニ付テハ保險給付ヲ爲サス  
前項ノ規定ニ依リ内務大臣ノ指定スル共濟組  
合ハ左ノ要件ヲ具フルモノニ限ル  
一健康保險法ノ規定ニ依ル保險給付ト同種ノ  
給付ヲ爲スルト  
ニ給付ニ要スル費用ニ付政府カ健康保險法ノ

規定ニ依ル國庫及事業主ノ負擔ト同一ノ  
割合ヲ下ラサル負擔ヲ爲スコト

第八條 前條ノ規定ニ依リ保險給付ノ全部又ハ  
一部ヲ受ケサル者ニ付テハ保險料ハ其ノ程度ニ  
應シ之ヲ減額シ又ハ之ヲ徵收セス

次官

局長  


課長  


課員



八〇

收保第七六二號

健康保險法施行令第七條ノ共濟組合ニ指定ス

昭和十年四月一日

陸軍共濟組合

內務大臣 後藤 文

去  


社  
會

  
陸軍省  
10.4.1  
共濟組合  
恩賞課





副官ヨリ陸軍一般へ通牒案

陸普(甲)

首題ノ件ニ関シ内閣恩給局ヨリ別紙ノ通牒アリタルニ付承知セラレタシ

追テ軍人ノ進級ニ對シテモ同様ニシテ例ヘハ昭和七年十二月一日伍長ニ任セラレタル者カ昭和九年十二月一日軍曹ニ進級シタルトキハ所謂「一年以上格置」ノ後為サレタル昇給ニ該當シ此ノ者カ軍曹任官後一年以内ニ退職シ恩給ヲ給セラルル場合ニハ恩給法別表ニ定ムル判任官三等(軍曹)即チ進級階等ニ依ル假定俸給年額ヲ以テ恩給額算出ノ基礎ト為スヘキモノニ付為念申添フ

一 陸普第三〇五二號昭和十年五月廿九日



恩發第一三三號

昭和十年五月十五日

内閣恩給局

陸軍大臣官房

御中

通牒

恩給法第五九條ノ第二項第二號ノ

「三年以上据置」ノ意義ニ関スル件

恩給法第五九條ノ規定ニ依リ退職前ノ俸給額ヲ計算スル場合ニ於テ  
同條第一項第二號「三年以上据置」ノ意義ヲ誤リ俸給額ヲ計算セラルル  
向々有之候處「三年以上据置」ト前俸給ヲ受ケル日ヨリ曆法ニ依リ計  
算シ滿二年間該俸給ヲ受ケ其ノ翌日以降ニ於テ昇給アリタル場合ヲ指

稱スルモノニシテ例之左ノ履歴ニ於テハ昭和七年十一月十五日月俸拾七圓ヲ受ケタル後昭和九年十一月十五日迄昇給セザルニ付二年以上据置ルニ該當スルヲ以テ其ノ翌十六日ニ昇給シタル（月俸七拾圓）ハ三年以上据置ルニ後為サレタル昇給ト謂フニ該當シ右第一項第二號ノ適用ヲ受ケルモノニ有之候條此段及通牒候也

追テ貴廳管下ノ關係廳ニハ貴廳ヨリ可然御通達方御取計相成度

履歴抄

左記

昭和七年十二月十六日

月俸拾七圓ヲ給ス

昭和九年十一月十六日

月俸七拾圓ヲ給ス

昭和十年三月廿二日

願ニ依リ本職ヲ免ス

陸軍省 領第一六六六  
恩發第一三三號

昭和十年五月十五日



内閣 恩給 局



陸軍大臣官房 御中

通 牒

恩給法第五十九條ノ二第一項第二號ノ「二年以上据置」ノ意義ニ關スル件

恩給法第五十九條ノ二ノ規定ニ依リ退職前ノ俸給額ヲ計算スル場合ニ於テ同條第一項第二號ノ「二年以上据置」ノ意義ヲ誤リ俸給額ヲ計算セラルル向々有之候處「二年以上据置」トハ前俸給ヲ受ケタル日ヨリ曆法ニ依リ計算シ滿二年間該俸給ヲ受ケ其ノ翌日以降ニ於テ昇給アリタル場合ヲ指稱スルモノニシテ例之左ノ履歴ニ於テハ昭和七年十二月十六日月俸六拾七圓ヲ受ケタル後昭和九年十二月十五日迄昇給セザ

内閣

恩給法第五十九條ニ

本節於テ退職前俸給年額ト稱スル退職前二年内俸給(軍人及軍人ニ在リテ各階等付定スル別表第一号表ニ規定シテ俸給額ヲ以テ其階等ニ對スル俸給額トス)ノ總額ヲ謂フ但シ左ノ特例ニ從フ

一 略

ニ前節ニ規定スル場合以外ノ場合ニ於テ退職前一年内ニ昇給アリタルトモ其ノ昇給カ前俸給ニ年以上据置ノ後爲サレタルモノトモ限リ前節ノ規定ヲ準用ス

ルコトガ「二年以上据置」ニ該當スルヲ以テ其ノ翌十六日ニ昇給シタ  
ル(月俸七拾圓)ハ「二年以上据置」ノ後爲サレタル昇給ト謂フニ該當シ  
右第一項第二號ノ適用ヲ受クルモノニ有之候條此段及通牒候也  
追テ貴廳管下ノ關係廳ニハ貴廳ヨリ可然御通達方御取計相成度

履歷抄

左

記

昭和七年十二月十六日

月俸六拾七圓ヲ給ス

昭和九年十二月十六日

月俸七拾圓ヲ給ス

昭和十年 三月廿二日

願ニ依リ本職ヲ免ス



決裁案

陸軍共済組合、健康保険關係ノ諸支  
出大ナルト且ツ現下低金利ノ影響ヲ受ケア  
リテ考慮ヲ要スヘキ状態ナルヲ以テ此ノ際部  
隊ノ組合事務ノ状態ヲ検査シ且ツ將來ノ  
指導ニ資スルノ要アルヲ以テ恩賞課長ヲシテ  
左記部隊ヲ検査セシメラレ度

左記

陸軍糧秣本廠

昭和十年六月十二日

陸軍共済組合事務課

保存期限

三年

決裁指定

次官

執行指定

牛島

七

政務次官 回付

決裁前後 連帶 課名

陸軍省

執行(決裁)後 同覽 課名

恩賞

監査

永久甲

以任

受番

領號

陸軍省

貳第一二七三號

起元廳(課)名

恩賞課

陸軍省

件名

陸軍共濟組合事務檢查1件

大臣

委

次官

政務次官

參與官

書記官

高級副官

主務副官

主務局長

主務課長

主務課員

主務局長

領受號

陸共第六三三號

昭和十年六月二十四日

連帶

局長

課長

大臣官房

領受

昭和十年六月廿六日

決行(決裁)後 同覽

局長

課長

代

代

陸軍省 10.6.18 監査課 10.6.23



決裁案

曩ニ決裁ヲ經在廣島部隊及大阪部隊並ニ  
陸軍糧秣本廠、共濟組合事務ヲ検査シタル  
結果改善向上、餘地尠カラス一面之カ検査  
、結果、本事務改善上效果尠カラスト認ム  
ルニ付業務、繁閑ヲ顧慮シ恩賞課長ヲシ  
テ適宜他、部隊、共濟組合ノ事務ヲ検査  
セシメラレ度

昭和十年六月廿四日

尚検査ニ要スル費用ハ既ニ恩賞課ニ令達セラ  
レタル豫算及共濟組合事務費トシテ既ニ  
認可ヲ受ケタル旅費中ヨリ支辨ス

保存期限 永久 決裁指定 次官 執行指定

成

政務次官 登載 回付 決裁前後連帶



永久甲

執行決裁後同覽課名



恩賞課

件名 陸軍省 第一〇三三號 起元難(課)名 恩賞課 職員扶助令ニ依ル扶助金支給標準中改正件

大臣 委

次官

高級副官



書記官

審案 筆記者

主務局長 領受 昭和三十八年八月十日 陸共第七九三號 提出 昭和三十八年八月十日 大官 領受 昭和三十八年八月十日 了結 昭和三十八年八月十日

主務局長

主務課長



主務課員



長課

長課



次官ヨリ陸軍一般へ通牒案

(甲)

昭和三年陸普第四七。號別表雇員扶助令ニ依ル扶助金支給區分表障害扶助料中身體障害程度、欄ヲ左記ノ通改正セラレタルニ付依命通牒ス

陸普第四五六九號

昭和十年八月十五日

左記

|                        |          |
|------------------------|----------|
| 恩給法施行令第三條第一<br>款に規定する者 | 同第一款症程度者 |
| 同第二款症程度者               | 同第三款症程度者 |
| 同第四款症程度者               | 同第五款症程度者 |
| 同第六款症程度者               | 同第七款症程度者 |
| 同第八款症程度者               | 同第九款症程度者 |
| 同第十款症程度者               |          |

|                        |          |
|------------------------|----------|
| 恩給法施行令第三條第二<br>款に規定する者 | 同第一款症程度者 |
| 同第二款症程度者               | 同第三款症程度者 |
| 同第四款症程度者               | 同第五款症程度者 |
| 同第六款症程度者               | 同第七款症程度者 |
| 同第八款症程度者               | 同第九款症程度者 |
| 同第十款症程度者               |          |

二改正

理由

昭和八年法律第五〇號恩給法改正ニ伴ヒ同  
法施行令第三十一條ヲ改正セラレ同條中ノ第四  
款症以上ヲ新ニ第二十四條ノニテ以テ規定セラレ  
第五款症以下ヲ目症ニ改メラレタルニ因ル

次官ヨリ陸軍一般へ通牒案

(甲)

大正十五年陸普第三九八九號別表傭人扶助令  
ニ依ル扶助金支給區分表障害扶助料中身  
體障害ノ程度、欄ヲ左記、通改正セラレタルニ付  
依命通牒ス

陸普第四五六八號

昭和十年八月十五日

左記

|                      |          |
|----------------------|----------|
| 恩給法施行令第三條第一<br>款ニ依ル者 | 同第一款ニ依ル者 |
| 同第二款ニ依ル者             | 同第三款ニ依ル者 |
| 同第四款ニ依ル者             | 同第五款ニ依ル者 |
| 同第六款ニ依ル者             | 同第七款ニ依ル者 |
| 同第八款ニ依ル者             | 同第九款ニ依ル者 |
| 同第十款ニ依ル者             |          |

|                      |          |
|----------------------|----------|
| 恩給法施行令第三條第二<br>款ニ依ル者 | 同第一款ニ依ル者 |
| 同第二款ニ依ル者             | 同第三款ニ依ル者 |
| 同第四款ニ依ル者             | 同第五款ニ依ル者 |
| 同第六款ニ依ル者             | 同第七款ニ依ル者 |
| 同第八款ニ依ル者             | 同第九款ニ依ル者 |
| 同第十款ニ依ル者             |          |

改正

成  
政務次官  
登載

保存期限

永久

決裁指定

次官

決行指定



政務次官  
回付  
決裁前  
課名



決行(決裁)後  
同覽課名



恩賞課

受領番  
武第一二五三  
起元廳(課)名  
備人扶助令依ル扶助金支給標準中改正ノ件

大臣  
委

次官

政務  
次官

參與官

書記官

審案  
筆記者

主務局長

受領出提

昭和一十一年八月十日  
昭和一十一年九月十日  
昭和一十一年九月十日

決行(決裁)後  
同覽

課長

課長

主務局長

主務課長

主務課員



高級副官

高級副官

主務副官  
官房御用掛  
計



審案  
筆記者

陸共第七九四號



次官ヨリ陸軍一般へ通牒案

(甲)

大正十五年陸普第三九八九號別表傭人扶助令  
ニ依ル扶助金支給區分表障害扶助料中身  
體障害ノ程度、欄ヲ左記ノ通改正セラレタルニ付  
依命通牒ス

陸普第四五六八號

昭和十年八月十五日

左記

|                      |           |
|----------------------|-----------|
| 恩給法施行令第三條第一<br>款ニ依ル者 | 同第一款症程度ノ者 |
| 同第二款症程度ノ者            | 同第二款症程度ノ者 |
| 同第三款症程度ノ者            | 同第三款症程度ノ者 |
| 同第四款症程度ノ者            | 同第四款症程度ノ者 |
| 同第五款症程度ノ者            | 同第五款症程度ノ者 |
| 同第六款症程度ノ者            | 同第六款症程度ノ者 |
| 同第七款症程度ノ者            | 同第七款症程度ノ者 |
| 同第八款症程度ノ者            | 同第八款症程度ノ者 |
| 同第九款症程度ノ者            | 同第九款症程度ノ者 |
| 同第十款症程度ノ者            | 同第十款症程度ノ者 |

|                      |           |
|----------------------|-----------|
| 恩給法施行令第三條第二<br>款ニ依ル者 | 同第一目症程度ノ者 |
| 同第二目症程度ノ者            | 同第二目症程度ノ者 |
| 同第三目症程度ノ者            | 同第三目症程度ノ者 |
| 同第四目症程度ノ者            | 同第四目症程度ノ者 |
| 同第五目症程度ノ者            | 同第五目症程度ノ者 |
| 同第六目症程度ノ者            | 同第六目症程度ノ者 |

改正

理由

昭和八年法律第五〇號恩給法改正ニ伴ヒ同  
法施行令第三十一條ヲ改正セラレ同條中ノ第四款  
症以上ヲ新ニ第二十四條ノニテ以テ規定セラレ第五  
款症以下ヲ目症ニ改メラレタルニ因ル



保存期限

十年

決裁指定

次官

決行指定

牛島

九

政務大官回付 決裁前後連帶

監査

決行(決裁)後  
回覽課名

永久甲

受領番號  
陸軍共濟組合計算證明ニ關スル件

起元廳(課)名

恩賞課

10.6.13

件名  
陸軍共濟組合計算證明ニ關スル件

大臣

委

政務次官

次官

主務局長

參與官

高級副官

主務課長

書記官

主務副官  
官房御用掛  
計掛

主務課員

審案  
筆記者

|                  |                  |                   |                   |         |
|------------------|------------------|-------------------|-------------------|---------|
| 大臣房              | 主務局長             | 主務課長              | 主務副官              | 主務課員    |
| 了結               | 領受               | 提出                | 領受                | 號番      |
| 昭和<br>年<br>九月十八日 | 昭和<br>年<br>九月十六日 | 昭和<br>十年<br>九月十四日 | 昭和<br>年<br>月<br>日 | 陸共第九二〇號 |

|           |    |
|-----------|----|
| 決行後<br>回覽 | 連帶 |
| 局長        | 局長 |
| 長課        | 長課 |

左  
頁

陸軍省ヨリ會計検査院宛通牒案  
計算證明規程第八十條ニ依リ左記ノ  
通提出ス

陸普第五二〇五號  
昭和十年九月十六日

左記

- 一 昭和九年度收支計算書
- 一 昭和九年度末日現在財産調書
- 一 昭和九年度末日現在組合人員調書



# 昭和九年度末日組合人員調書

| 廳 別      | 人 員    | 廳 別   | 人 員    |
|----------|--------|-------|--------|
| 陸軍造兵廠    | 23,413 | 第一師團  | 221    |
| 千住製絨所    | 818    | 第三師團  | 981    |
| 陸軍被服廠    | 3,119  | 第四師團  | 316    |
| 陸軍糧秣廠    | 765    | 第五師團  | 275    |
| 陸軍衛生材料廠  | 277    | 第六師團  | 289    |
| 陸軍兵器廠    | 1,304  | 第七師團  | 250    |
| 軍馬補充部    | 1,137  | 第八師團  | 300    |
| 陸軍航空本部   | 3,600  | 第九師團  | 215    |
| 陸軍技術本部   | 1,053  | 第十師團  | 203    |
| 陸軍運輸部    | 839    | 第十一師團 | 208    |
| 陸軍大臣官房   | 169    | 第十二師團 | 539    |
| 陸軍築城部    | 91     | 第十四師團 | 184    |
| 陸軍經理學校   | 37     | 第十六師團 | 243    |
| 陸軍軍醫學校   | 241    | 第十九師團 | 221    |
| 陸軍獸醫學校   | 103    | 第二十師團 | 269    |
| 憲兵司令部    | 558    | 朝鮮軍   | 239    |
| 參謀本部     | 779    | 臺灣軍   | 378    |
| 教育總監部    | 2,071  | 蘭東軍   | 194    |
| 東京警備司令部  | 6      | 支那駐屯軍 | 37     |
| 軍用施設調査委員 | 32     |       |        |
| 近衛師團     | 407    |       |        |
| 第一師團     | 640    | 計     | 47,021 |

昭和九年度末日現在財産調書

| 區       | 分 | 金             | 額   |
|---------|---|---------------|-----|
| 現       | 金 | 5,833         | 430 |
| 郵便貯     | 金 | 147,680       | 780 |
| 振替貯     | 金 | 4,071         | 660 |
| 銀行定期預   | 金 | 80,989        | 710 |
| 銀行當座預   | 金 | 120,131       | 390 |
| 銀行特別當座預 | 金 | 5,027         | 110 |
| 銀行通知預   | 金 | 70,000        | 000 |
| 信託預     | 金 | 3,136,000     | 000 |
| 有價證     | 券 | 4,413,139     | 650 |
| 貸付及貸與   | 金 | 809,801       | 780 |
| 計       |   | 8,792,675,510 |     |

# 昭和九年度 收支計算書

| 收入額           | 摘要    | 支出額            | 受給人員    |
|---------------|-------|----------------|---------|
| 9,412,228 480 | 障害給付金 | 15,576 150     | 35      |
| 736,334 450   | 医療、給付 | 324,369 860    | 88,906  |
| 825,712 910   | 療養給付金 | 225,880 730    | 12,697  |
| 855,315 560   | 分娩給付金 | 8,280 000      | 415     |
|               | 死亡給付金 | 71,066 590     | 274     |
|               | 特症給付金 | 26,953 590     | 195     |
|               | 脱退給付金 | 591,444 280    | 7,175   |
|               | 勤続給付金 | 195,447 230    | 921     |
|               | 罹災給付金 | 19,255 000     | 624     |
|               | 家族弔慰金 | 48,725 000     | 2,913   |
|               | 雑費    | 9,917 460      |         |
|               | 翌年度越高 | 8,792,675 510  |         |
| 329,591 400   | 計     | 10,329,591 400 | 114,155 |

昭和九年度

皇  
自  
昭  
和  
十  
年  
三  
月  
四  
日

收 支 計 算 書

陸 軍 共 濟 組 合

陸軍次官

橋本虎之助

昭和十年九月十六日提出

保存期限

永久

決裁指定

局長

決行指定

牛島

第一號

政務次官 回付 決裁前後連帶

決行(決裁)後 回覽課名

永年 叔恒

受領番號 陸軍省 貳第 二二三四號 起元廳(課)名 恩賞課

件名 傭人扶助令及供給勞動者扶助令施行狀況ニ關スル件

大臣 香

次官 委

局長 主務

課長 主務

主務課員

次官

高級副官

主務副官 官房御用掛

政務次官

參與官

書記官

審案 筆記者

後

牛島

藤村

仲

陸共第六号

七年 三月二十三日 八號

|          |          |          |          |       |    |
|----------|----------|----------|----------|-------|----|
| 大臣房      | 局長       | 主務       | 課長       | 主務    | 課員 |
| 了結       | 領受       | 出提       | 領受       | 號番    |    |
| 昭和 年 月 日 | 昭和 年 月 日 | 昭和 年 月 日 | 昭和 年 月 日 | 陸共第六号 |    |
| 五月八日     | 五月廿八日    | 十月八日     |          |       |    |

連帶 決行(決裁)後 回覽

局長 課長

10

保存期限

永久

決裁指定

局長

決行指定

牛島

第一

政務次官回付 決裁前後連帶  
參與官回付

決行(決裁)後  
回覽課名

受領番號  
陸軍省  
貳第二三三號  
起元廳(課)名

恩賞課

件名  
傭人扶助令及供給勞動者扶助令施行狀況ニ關スル件

政務次官

參與官

書記官

審案  
筆記者

大臣  
永

次官  
委

高級副官

主務副官  
官房御用掛

主務局長

主務課長

主務課員

主務番號

陸軍省  
第一

長課

長課

昭和  
年一月八日

(決裁)回覽

局長

局長

永  
甲  
叔  
恒



陸軍省副官ヨリ陸軍一般へ通牒案

(甲)

首題ノ件ニ關シ別紙様式ニ依ル統計表毎年(月)左記期日迄二軍、師團司令部其ノ他各所管毎ニ取纏メ提出相成度依命通牒ス

追テ本統計表ハ大正十五年陸普第三九八九號ノ年度報告トハ別個

ノモノニシテ内務省社會局ニ於テ労働者災害扶助年報資料ト爲ス

モノナルニ付彼此混同セサル様爲念申添フ

左記 陸普第六三四一號 昭和十年二月五日

一、第一號様式 其ノ年ノ十一月三十日

二、自第二號至第五號様式 翌年二月末日

三、毎月労働者災害扶助法施行規則第五條(昭和十年一月二十一日公布)ニ依ル労働者死傷報告ノ内

休業八日以上ヲ要スヘキモノ及死亡ノ分ハ各二通翌月末日

參照

昭和六年十一月二十八日公布内務省令第三十二號勞働者災害扶助法施行規則抄錄

第五條勞働者業務上ノ負傷又ハ勞働者災害扶助法施行令第三條第二項ノ疾病ニ因リ療養ノ爲三月以上ノ休業ヲ要スヘキトキ又ハ死亡シタルトキハ事業主ハ遲滯ナク様式第一號ニ依リ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第一號樣式 (用紙日本紙規格B4)

共濟組合員ニ非ラサル使用労働者數調 昭和 年 月 日現在

提出  
部隊

| 考備 | 合計 |   | 供給労働者 |   | 傭人 |   | 名區 |   | 稱分             |
|----|----|---|-------|---|----|---|----|---|----------------|
|    | 計  | 別 | 計     | 別 | 計  | 別 | 計  | 別 |                |
|    | 女  | 男 | 女     | 男 | 女  | 男 | 女  | 男 | 總數             |
|    |    |   |       |   |    |   |    |   | 十四歲未滿          |
|    |    |   |       |   |    |   |    |   | 十四歲以上<br>十六歲未滿 |
|    |    |   |       |   |    |   |    |   | 十六歲以上          |

譯



此者労働者災害扶助法施行令第11條に依り扶助を受ける者  
 未名ノ為利五年へ繰越す者

合

備

考

一、當年中其以前に於て業務上負傷シ又ハ疾病ニ罹リタル者ニシテ當年中  
 扶助ヲ爲シタル者ヲ記載スルコト  
 二、本表中ニ負傷及疾病ヲ含ムコト

計

第三號様式乙(用紙是紙規格B4)

結末別扶助件數調

昭和 年 自 至 月

提出部隊

區 分 準 據 考 規 別

備人扶助令ニ依ルモノ  
男 女 計

| サセ癒者<br>者レリ | 者ルタシ癒者   |   |   |  |                       | 區 |
|-------------|----------|---|---|--|-----------------------|---|
|             | 者ルタシ残ヲ害障 |   |   | ガケ残ヲ害障<br>者レリ                                  |                       |   |
| 扶助ヲ打切ラレタル者  | 死        | 七 | 者 | 終身勞務ニ服スルコト能ハサル者                                | 終身自用ヲ辨スルコト能ハサル者       | 計 |
|             |          |   |   | 從來ノ勞務ニ服スルコト能ハサル者健康舊ニ復スルコト能ハサル者又ハ女子ノ外貌ニ醜痕ヲ殘シタル者 | 終身勞務ニ服スルコト能ハスルコト雖引續キ從 |   |
|             |          |   |   |  |                       |   |
|             |          |   |   |  |                       |   |
|             |          |   |   |  |                       |   |

未治、為翌年一繰越ノ者

合

計

備考

一、當年中其ノ以前ニ於テ業務上負傷シ又ハ疾病ニ罹リタル者ニシテ當年  
中扶助ヲ爲シタル者ヲ記載スルコト  
ニ、本表ニ負傷及疾病ヲ含ムコト  
三、障害扶助ニ別個ノ標準ヲ標ルモノト雖本表ノ區分ニ分類記入スルコト





| 考 備   | 休 業 扶 助 料 支 給 延 日 數 |                 | 數     |  |
|---|---------------------|-----------------|-------|--|
|   | 合 計                 | 未 治、為 翌 年、繰 越、者 | 即 死 者 |  |
| 一、休業シタル者欄ニ「第二號様式」ニ記載シタル者ノ内休業扶助料ノ支給ヲ受ケタル者（未治、為翌年、繰越、者ヲ除ク）其ノ支給期間ニ依リ之ヲ分類記載スルコト |                     |                 |       |  |
| 二、第二號様式中療養費ノ受ケ休業扶助料ヲ受ケザリシ者ハ本様式休業ニ至ラザリシ者ト一致スルモノトス                            |                     |                 |       |  |
| 三、第二號様式中未治、為翌年、繰越、者ハ本様式未治、為翌年、繰越、者ト一致スルモノトス                                 |                     |                 |       |  |
| 四、第二號様式中合計男女ハ本様式合計男女ト一致スルモノトス   |                     |                 |       |  |



|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| 考 備  | 合 | 打 | 葬 |
| 一本表、第二號様式甲ニ記載シタル者ニ對シ、當年中ニ於テ心扶助<br>金額ヲ各欄ニ記載スルコト |   | 切 | 祭 |
|  |   | 扶 | 祭 |
|  |   | 助 |   |
|  |   | 計 | 料 |
|  |   | 料 | 料 |

